

## 入居企業紹介 その165

SICに入居されている企業様をご紹介します。

### >>> SIC-1 株式会社日刊工業新聞社

## 「地域の良い企業をしっかりと紹介する」



#### 【代表プロフィール】

株式会社日刊工業新聞社  
相模支局長 石橋 弘彰 (いしばし ひろあき)

東京都台東区入谷在住の45歳、東京都生まれ、神奈川県座間市育ち。中学では、卓球部に所属し、大学では、オグリキャップの競馬チームに合わせ競馬サークルに所属、大学卒業後、物流専門紙の記者を経由し、日刊工業新聞社の記者となる。

生き生きとした人の姿、人の文化を見ることが好きで、休日は、浅草など人が集まる場所や映画館、美術館で過ごすベテラン記者。

高校の担任の先生に「おしゃべりだから記者に向いている」といわれたことがきっかけで記者を目指した石橋さんは、2002年に日刊工業新聞社の記者となり、14年前の2005年、32歳の時に当時本厚木にあった相模支局に配属されました。当時からSICの入居企業の皆さんをはじめ県央地域の多くの地域の企業の皆さんのため積極的に活躍され、今回の相模支局へのお帰りは嬉しい限りです。

また、石橋さんは、幼少のころから隣の座間市で育ち、現在も両親が小田急線小田急相模原駅に住まれ、夜遅くなると実家に泊まることもあるとのことで、石橋さんにとって、この地域はまさに愛すべき地元です。

#### 【記者になったきっかけと経歴】

先生の一言から人の話を聞くことが好きな自分に気づき、新聞記者を目指した石橋さんは、法学部を卒業後、物流の専門紙で記者と営業の仕事を行い、その後、日刊工業新聞社に入社、流通部門を担当し、コンビニや家電量販店の取材をしました。

さらに東京支社で中小中堅企業を対象としてIPOをしたバイオベンチャーや情報通信系の企業を取材し、また企業の対談企画などを手掛けて経験を積んで来ました。

前配属先では、自動車産業とロボット産業のデスクをしていました。

それ以前にロボット産業の企業の取材を続けてきたので、ロボット、AIの専門として皆さんに情報提供ができるということです。

また、以前、ロボットのティーチングの研修を受けたことがあり、その難しさを体感し、人材育成の大事さを知っているので、皆さんのお役に立ちたいと思っています。

#### 【SICでの目標】

SIC交流会に積極的に参加するとともに入居企業の皆さんの取材を進め、紙面でSICの特集を組みたいと思っています。また、県央企業特集も企画しています。産学連携、産業振興などのテーマや工作機械に注目した地域企業のものづくりをテーマにこの地域のポテンシャルある企業の成長をサポートしたいと思っています。

----- 日刊工業新聞社が扱う新聞や電子版など -----



#### 【記者としてお役にたてること】

皆さんへのお挨拶と取材を進め、ブランド価値の創造をお手伝いしていきたいと思っています。自社製品や技術を「あたりまえのもの」と思われている方も多いので、取材を通してスゴさに気づいていただきたいと思います。また、技術開発だけでなく、人材募集など幅広いPRをするアイテムとして利用いただくため、日ごろのコミュニケーションを大事に取材と広告で皆さんをサポートしていきたいと思っています。

#### 【取材を通して】

「地域の良い企業をしっかりと紹介する。」石橋さんが、地域の企業の皆さんの成長を支援するため大事にしている言葉です。

素晴らしい縁で2回目の配属となった石橋さん、人が好きで、話が大好きで、地元を愛する人間味あふれる記者石橋さんの活躍が楽しみです。(稲垣)

株式会社日刊工業新聞社  
SIC-1 313号室  
URL : <https://www.nikkan.co.jp/>  
E-mail : [isibasih@po.nikkan.co.jp](mailto:isibasih@po.nikkan.co.jp)

# 入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、ご覧ください。

7月11日(木) 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞 - 年俸制を振り返る①-

# お知らせ

開催内容等、詳しくはSICホームページをご覧ください。

南西フォーラム  
41st FORUM

## “産”と“学”とで紡ぐ中小企業イノベーション

変化の激しい市場環境の中で中小企業が生き残るためには、自社の独自性を高めることが求められます。その中で、産学連携は自社の成長につながる有用な手段の一つでありながら、中小企業が成果をつかみ取るには、いくつかの課題があります。

今回の南西フォーラムでは産学連携について、コーディネーター、大学・高専、中小企業の視点から事例等を紹介いたします。また、首都圏南西地域の産学連携に関するポテンシャルを客観的に見渡すことで、中小企業によるイノベーション創出の多様な可能性を見出すことを目的として開催いたします。

○開催日 令和元年9月10日(火)  
16:00~19:30(15:30より受付開始)

○開催場所 青山学院大学 相模原キャンパス

○内容

### PROGRAM 1.

■基調講演 「事例から読み解く、中小企業による産学連携」

【講演者】 堺 奈都氏

一般社団法人首都圏産業活性化協会

産学官連携コーディネーター

(東京都立産業技術研究センター 特任技術アドバイザー)

### PROGRAM 2.

■分科会A 「大学等の産学連携推進体制」分科会  
青山学院大学、神奈川工科大学、東京工業高等専門学校

■分科会B 「中小企業による産学連携」分科会  
有限会社山内エンジニアリング、株式会社メディアプラス、株式会社志成データム

※詳しくは、SICホームページをご覧ください。

○募集人数 150名

○参加費 無料

○お申し込み・お問い合わせ先 担当：片山・磯谷 (SIC-1)

## 生産プロセス改善のための改善基礎セミナー

IE※の考え方をもとに、生産プロセス改善の進め方や工程改善手法について、実例や演習を交えて学びます。

日時：令和元年8月22日(木)

会場：サン・エールさがみはら(2階・第1研修室)

講師：青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授

松本 俊之氏

募集：先着 20名 申込期限：令和元年8月15日(木)

お問い合わせ先 担当：樽川、大河内 (SIC-1)

※詳しくはHPをご覧ください。

※IE: industrial engineering の略

## 一ご意見箱のお返事ですー

【ご意見】 SIC-1より

産業創造センター内を全て禁煙にしてはどうでしょうか？

SIC-1,2共に喫煙者のマナーが訪問されたお客様に指摘されるほど悪いです。タバコの灰をその場にすてたり、床にすりつけて火を消したりと見ておられません。誰が片付け、掃除をしていると思っているのでしょうか。一部報道でもタバコ休憩についても論議されていますし、健康にも悪いし、こちらでもっとクリーンなイメージを持って良い時だと思えます。

【SICからの回答】

SICは、館内全面禁煙としています。喫煙者の皆さまには、マナーを守っていただけよう、注意喚起してまいります。R&D Lab.(増築棟(仮称))が出来ましたことも踏まえて、喫煙場所は、お客様にご迷惑をお掛けしない場所にいたします。

## 「SIC 空き室情報」

SICの空き室情報です。

○セミナー：実験、評価、分析などウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして目的に合わせてご利用いただけます。

増床・移転をご希望の方はご検討ください。

※お問い合わせ先 担当：大谷・稲垣 (SIC-2)

## 空き室情報！

SIC 空き室情報 (令和元年8月1日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

SIC-2 R&D Lab. (増築棟)

セミナー (63.18 m<sup>2</sup>) 3F 314号室  
4F 411~415号室  
5F 512号室

※令和元年9月以降入居可能

SIC-2 R&D Lab.  
入居企業を  
募集中です！

## SIC-2 R&D Lab. (増築棟)

完成しました！

9月5日オープンです！

SIC-2増築棟完成までのカウントダウン！！

SIC-2増築棟完成まで、

0日

入居企業の皆様へのお願いです。SIC-2の駐車場について、下記の期日まで、SIC-2増築棟オープン準備の為、ご利用いただけません。お車でご来社のお客様には、「SIC-1来客者用駐車場」又は、隣接する「緑区合同庁舎第2駐車場」を引き続きご利用頂きますよう、お伝え戴きたくお願いいたします。

【期間：～2019年9月5日】  
ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

9月5日(木)は、SIC20周年記念式典並びに竣工式を予定しています。



## 編集後記

SIC-2増築棟が完成しました。これからの1ヶ月間は、オープンに向けた準備となります。SICでは、9月5日(木)20周年記念式典と共に竣工式を予定しています。入居企業の皆さまには、ご招待状をお出ししていますので、ご出欠をお葉書でご連絡を頂きたいお願い致します。また、これまで「増築棟(仮称)」と呼んでいましたが、「R&D Lab.」と正式に名前が決定致しました。宜しくお願い致します。梅雨が明け、酷暑が続いていますので、皆さんくれぐれもお自愛ください。今年も熱い夏になりそうです！ 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <https://www.sic-sagamihara.jp>  
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21 E-mail: [koho@sic-sagamihara.jp](mailto:koho@sic-sagamihara.jp)